



シュンデンタルタイムズ 11

2023

今月の特集

ワイヤー矯正

前回到続いて今回も歯列矯正治療のお話をしたいと思います。

もっとも一般的で、世界的にも広く行われている治療の**ワイヤー矯正**

についてお話したいと思います。

先月号は
こちら

長い歴史の中で技術が磨かれてきたワイヤー矯正は、**信頼性の高い矯正治療技術のひとつ**です。

マウスピース矯正に比べ費用も比較的安価であり、治療期間も短縮されてきています。

M-1優勝のお笑い芸人錦鯉の長谷川雅紀さんも、奥歯にインプラントを入れる前に下の歯にワイヤー矯正をおこなっていました。このように芸能界でも、ワイヤー矯正を選択する方は多くいらっしゃいます。

ワイヤー矯正とは

ワイヤー矯正とは、**歯や顎の形態を改善し、噛み合わせを正常な状態に戻すための治療方法**です。

一般的には、**歯並びが悪く、歯や顎の関係性が不適切な場合**に使用されます。

歯を移動させて噛み合わせを改善し、美しい笑顔や正しい噛み合わせを実現する矯正治療となります。

ワイヤー矯正の流れ

01



歯の表面に**ブラケット**と呼ばれる装置を接着剤で取り付け、**ワイヤー**を保持します。

02



ブラケットやワイヤーに、**エラスティック**と呼ばれるゴムバンドで特定の歯を押ししたり引いたりすることで歯を移動させていきます。

03



矯正治療が終了したあとは、**リテーナー**と呼ばれるマウスピースを使用し**後戻り**を防止します。

メリットとデメリット

メリット

- ・治療費が他の矯正治療法に比べて**比較的安価**
- ・治療期間が**比較的短く済む**場合がある(症状によりこの限りでない場合があります)
- ・治療法が確立されており**効果が確実**と言われている

デメリット

- ・歯の表側に装置を装着するのでマウスピース矯正に比べると**装置が目立つ**

ワイヤー矯正治療に向いている人

- ・歯列矯正治療を希望していて、**可能な限り早く治療を終わりたい**と考えている方
- ・複雑な歯並びの矯正治療を希望する方（マウスピース矯正では不可能な歯の移動が可能です）

治療期間

- ・通常、歯を抜いた場合は2年～3年、歯を抜かない場合は2年程度
（歯を抜いた場合、抜いた隙間を閉じる必要があるため、歯を動かす量が大きくなり治療期間が長くなる傾向にあります）

矯正歯科治療に伴う一般的なリスクや副作用について

- 1 矯正装置による不快感、痛みを伴うことがあります ※数日～1,2週間で慣れることが多い
- 2 歯の動きには個人差があり、そのために予想された治療期間を延長する可能性があります
- 3 装置の使用状況・定期的な通院、歯列矯正治療には患者さまの協力が必要不可欠で、それらが治療結果や治療期間に大きく影響します
- 4 治療中は、装置が付いているため歯が磨きにくくなることで、むし歯や歯周病のリスクが高まります

適切なブラッシングや歯科医院での定期的なメンテナンスを受けることが重要です。



シュンデンタルクリニックの矯正治療

シュンデンタルクリニックでは、**2024年から矯正治療にも力を入れて参りたい**と思っております。

現在、東京から矯正治療に特化した歯科医師を当院に迎え入れ、治療体制を整える準備を行なっております。スタートの際にはHPやニュースレターでお知らせいたしますので、どうぞご期待ください。

現在、歯並びや噛み合わせで矯正治療をお考えの方は、お気軽にご相談ください。

シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>